

3 鳥取市の将来像について

3-(1)

あなたは鳥取市を住みよいまちにするために今後どのような施策を優先して進めるべきだと思いますか。(MA)

- 「道路整備対策」、「雇用・勤労福祉対策」、「高齢化対策」が上位
旧町村では「住民の声をくみあげる施策」が上位 -

今後、鳥取市が優先すべき施策として、「道路整備対策」(38.2%)が最も多く、以下「雇用・勤労福祉対策」(35.8%)、「高齢化対策」(34.1%)、「住民の声をくみあげる施策」(32.7%)、「自然環境の保全」(29.5%)などの順となった。前回の調査との比較では、前回の上位10項目中6項目が今回も上位を占めている。

図 3-(1) 優先すべき施策 n=1,828

単位%

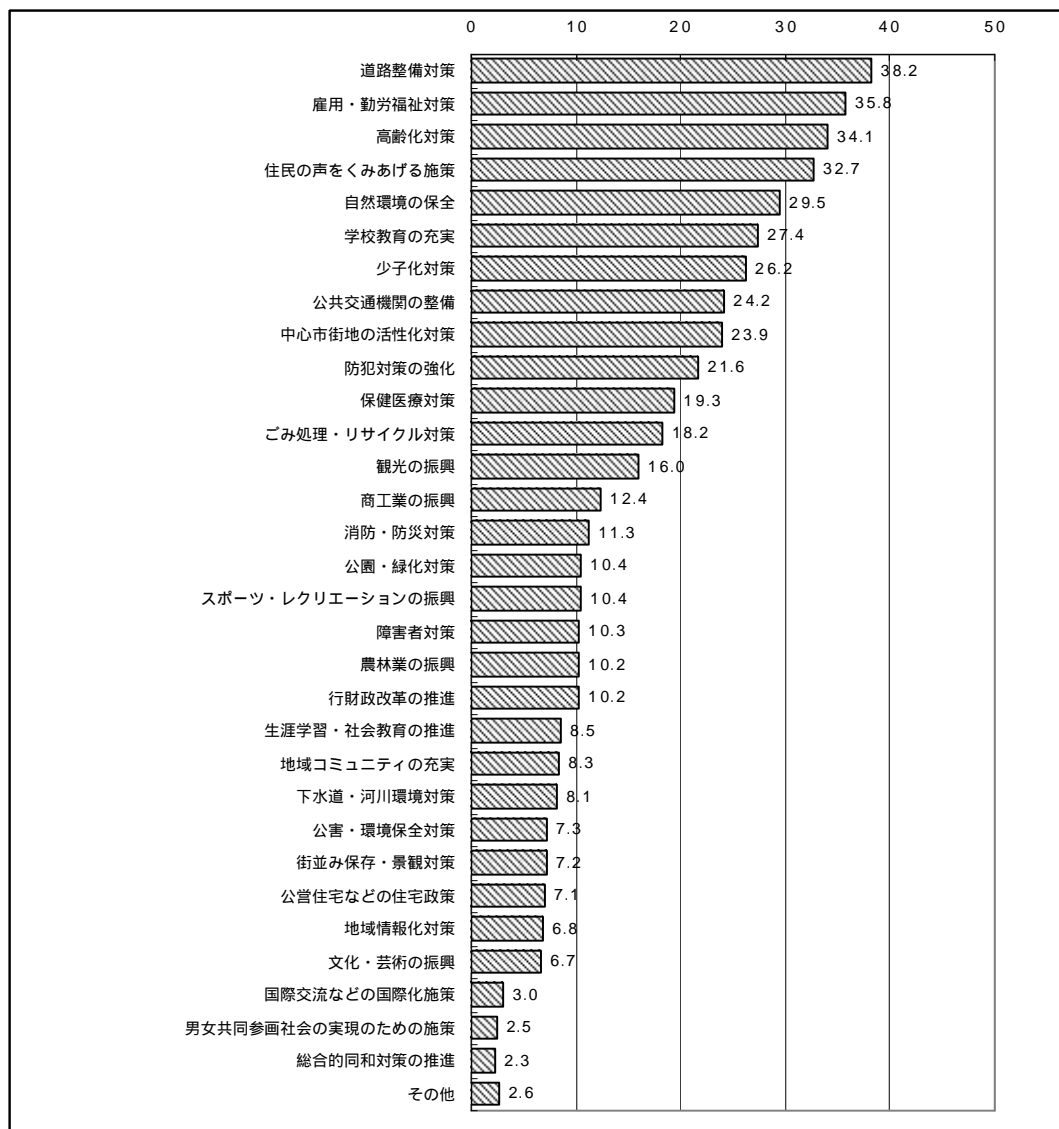


表 3-(1) 前回の調査との比較（上位 10 項目）

	平成 17 年調査	平成 12 年調査
1 位	道路整備対策 (38.2%)	高齢化対策 (49.7%)
2 位	雇用・勤労福祉対策 (35.8%)	ごみ処理・リサイクル対策 (41.3%)
3 位	高齢化対策 (34.1%)	道路整備対策 (33.0%)
4 位	住民の声をくみあげる施策 (32.7%)	雇用・勤労対策 (32.0%)
5 位	自然環境の保全 (29.5%)	学校教育の充実 (30.5%)
6 位	学校教育の充実 (27.4%)	下水道・河川環境対策 (24.6%)
7 位	少子化対策 (26.2%)	保健医療対策 (23.6%)
8 位	公共交通機関の整備 (24.2%)	公園・緑化対策 (22.4%)
9 位	中心市街地の活性化対策 (23.9%)	公共交通機関の整備 (22.4%)
10 位	防犯対策の強化 (21.6%)	少子化対策 (20.9%)

は、選択肢として今回新たに設定した項目

は、前回の調査の上位 10 位以内と同一の項目

上位項目を属性別に見ると、「道路整備対策」は、特に男性で割合が高く、若い世代でも割合は高くなっている。「雇用・勤労福祉対策」は、女性で割合が最も高くなっており、女性の雇用・勤労条件改善への期待が強いことがうかがえる。

「高齢化対策」は、50 代以上の中高年層で 5 割近くを占め、「学校教育の充実」「少子化対策」は、子育て世代である 30 代・40 代で上位となっている。

「住民の声をくみあげる施策」は、旧町村の居住者で割合が最も高くなった。合併により地域の声が届きにくくなる不安が表れたものと推察される。上位項目は、それぞれの属性ごとの特徴、不安を反映する結果となった。

表 3-(2) 優先すべき施策の属性別比較（主な属性毎の上位 5 項目）

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
性別	男性 (n=798)	道路整備対策 (46.1%)	高齢化対策 (34.6%)	住民の声をくみあげる施策(34.2%)	自然環境の保全 (33.7%)	雇用・勤労福祉対策 (32.6%)
	女性 (n=980)	雇用・勤労福祉対策 (37.8%)	高齢化対策 (33.8%)	道路整備対策 (32.6%)	住民の声をくみあげる施策(31.0%)	少子化対策 (29.7%)
年代別	10代・20代 (n=420)	道路整備対策 (42.1%)	雇用・勤労福祉対策 (36.0%)	公共交通機関の整備 (32.9%)	中心市街地の活性化対策 (32.4%)	自然環境の保全 (31.0%)
	30代・40代 (n=676)	道路整備対策 (40.7%)	雇用・勤労福祉対策 (36.2%)	学校教育の充実 (36.2%)	住民の声をくみあげる施策(37.9%)	少子化対策 (31.5%)
	50代以上 (n=700)	高齢化対策 (47.3%)	住民の声をくみあげる施策(37.9%)	道路整備対策 (34.1%)	雇用・勤労福祉対策 (31.7%)	自然環境の保全 (31.0%)
地域別	旧鳥取市 (n=816)	道路整備対策 (38.8%)	雇用・勤労福祉対策 (34.9%)	高齢化対策 (34.6%)	中心市街地の活性化対策 (33.1%)	自然環境の保全 (31.3%)
	旧町村 (n=975)	住民の声をくみあげる施策(41.4%)	道路整備対策 (38.3%)	雇用・勤労福祉対策 (36.2%)	高齢化対策 (33.8%)	自然環境の保全 (28.2%)